

第11回宇和島市・北宇和郡中学校新人総合体育大会

期 日 平成28年 9月28日(水)

9月29日(木)

(雨天決行 一部順延)

会 場

大会本部	宇和島市立城北中学校
バレーボール	吉田町ふれあい運動公園
バスケットボール	宇和島市総合体育館
卓球	鬼北総合公園
ソフトテニス	津島プレーランド
軟式野球	丸山公園野球場・吉田公園野球場
サッカー	丸山公園陸上競技場・丸山公園多目的グラウンド
柔道	宇和島市総合体育館
剣道	三間町国民体育館
体操競技	宇和島市立津島中学校
テニス	三間町運動公園

主 催

宇和島市教育委員会
松野町教育委員会
鬼北町教育委員会
宇和島市中学校体育連盟
北宇和郡学校体育会

大会テーマ

躍動 ～光り輝け技と夢～

開会式次第

- 1 開 式 宣 言
- 2 優 勝 杯 返 還
- 3 挨 拶
- 4 審 判 長 注 意
- 5 選 手 宣 誓
- 6 閉 式 宣 言

開会式担当者

競技名	会 場	挨 拶	選 手 宣 誓	開場時刻	開 会 式	競技開始
バレーボール	吉田町ふれあい運動公園	吉田中校長	片山 功輔 (城東)	8:00	9:00	9:30
バスケットボール	宇和島市総合体育館	城東中校長	毛利 真悠 (広見)	7:40	8:30	9:00
卓 球	鬼北総合公園	城北中校長	家高康太郎 (広見)	8:00	9:00	9:20
ソフトテニス	津島プレーランド	日吉中校長	林 亮太郎 (宇南)	7:50	8:50	9:10
軟 式 野 球	丸山公園野球場	城南中校長	河野秀一朗 (城南)	8:00	9:00	9:30
	吉田公園野球場	松野中校長	河野 青空 (津島)	8:00	9:00	9:30
サ ッ カ ー	丸山公園多目的グラウンド	広見中校長	橋本 悟空 (広見)	8:00	8:30	9:30
柔 道	宇和島市総合体育館	城東中校長	白瀧 陽菜 (三間)	7:50	9:30	9:50
剣 道	三間町国民体育館	宇和島南中等教育学校長	島田 泰旗 (宇南)	7:30	9:15	9:40
体 操 競 技	宇和島市立津島中学校	津島中校長	家藤 夢乃 (城北)	7:30	9:00	9:10
テ ニ ス	三間町運動公園	三間中校長	黒田 百花 (三間)	8:00	8:40	9:00

※ 大会 2 日目の競技開始時刻
 9 : 0 0 (バレーボール女子・バスケットボール)
 9 : 1 0 (ソフトテニス)
 9 : 2 0 (卓球)
 9 : 3 0 (軟式野球・サッカー)

閉会式次第

- 1 開 式 宣 言
- 2 成 績 発 表
- 3 表 彰 認 言
- 4 資 格 確 認
- 5 閉 式 宣 言

大会規定

競技者・指導者・役員は、スポーツマンとしての態度で終始する。各競技責任者並びに審判長は本大会規定違反者に対しては厳重に注意しなければならない。はなはだしい場合には大会委員会で審議の上、競技資格を認めない。

1. 競技に関するもの

- (1) 競技は全て平成28年度県新人規定並びに本大会競技規定によって行う。
- (2) 競技者・指導者・応援者はフェアプレーの精神を貫き、相手の中傷するような言動、判定への不当な抗議等は厳に慎み、敵・味方の区別なく、さわやかな声援を送る。
- (3) 参加申込みに記載されていないものは、試合場に入れないものとする。
- (4) バレーボール女子・バスケットボール男女・軟式野球・サッカーの準決勝以降の試合は翌日実施とする。
- (5) ソフトテニス個人、卓球個人の試合は翌日実施とする。

2. 出場資格に関するもの

- (1) 団体競技 1校1チーム
- (2) 個人競技
 - 卓 球 1校シングルス8名以内・ダブルス4ペア以内
 - ソフトテニス 1校5ペア以内
 - 柔 道 制限しない
 - 剣 道 1校10名以内
 - 体 操 競 技 制限しない
 - 相 撲 制限しない
 - テ ニ ス 1校シングルス8名以内、ダブルス4ペア以内
- (3) 1人が2競技以上に出場することはできない。
- (4) 外部指導者（コーチ）は、以下の11競技に限り校長の承認を得てベンチ入りすることができる。なお、外部指導者（コーチ）証を必ず付けることとする。テクニカル・アドバイザーも同様の扱いとする。

○ バレーボール	○ ソフトテニス	○ サ ッ カ ー	○ 相 撲
○ バスケットボール	○ 軟 式 野 球	○ 柔 道	○ 卓 球
○ ソフトボール	○ 体 操 競 技	○ テ ニ ス	
- (5) 卓球・体操競技の2競技に限り、複数の学校における外部指導者（コーチ）として登録できる。ただし、複数の競技における外部指導者（コーチ）としては登録できない。
- (6) 当該校以外の中学校の校長・教職員（行政関係は除く）は、外部指導者（コーチ）としての資格をもたない。ただし、「体操競技」は、選手の安全確保を目的として、当該校以外の中学校に勤務する教職員を「テクニカル・アドバイザー」として登録できる。
- (7) けが・病気等で出場できなくなった者については、校長の承認を得て、大会当日の監督会議で変更届を提出すれば、変更を認める。（団体及びソフトテニス個人・卓球ダブルス・テニスダブルスのみとし、ソフトテニス個人・卓球ダブルス・テニスダブルスは個人の登録選手以外から追加登録する。）
- (8) 2校以上の合同チームは、県中体連の合同チーム編成規程により大会への参加を認める。

3. 開会式に関するもの

- (1) 開会式には、全員が参加する。
- (2) 特別な理由なく開会式に参加しなかった者は、競技参加を認めない。
- (3) 服装は体操服・ユニフォーム等、チームで統一する。

4. 県新人体育大会出場資格に関するもの

- (1) 団体競技
 - 参加校が8校以上の競技 2位校まで
 - 参加校が7校以下の競技 1位校のみ

（ただし、柔道男子は2位校まで、柔道女子は3位校まで、剣道男子は2位校まで、体操競技は2位校まで、相撲は4位校まで、テニスは県内8チーム以内であれば全チーム出場することができる。）
 - (2) 個人競技
 - 卓 球 シングルス8位まで・ダブルス4位まで
 - ソフトテニス 男子は4位まで、女子は8位まで
 - 柔 道 男子は各階級3位まで、女子は各階級4位まで
 - 剣 道 男子は8位まで、女子は4位まで
 - 体 操 競 技 上位4名まで
 - 相 撲 制限しない
 - テ ニ ス シングルス16位まで・ダブルス8位まで
- ※ ソフトテニス・柔道・剣道・相撲は順位決定戦を行う（ただし剣道は3位決定戦のみ）

5. 表彰に関するもの
- (1) 団体競技1位校には優勝杯と学校及び登録選手全員に賞状を授与する。2位校には賞状を授与する。
 - (2) 個人競技では、3位までの入賞者に賞状を授与する。
6. その他
- (1) 組合せ抽選は、第8回市郡中学校体育研修会において各校理事の責任抽選とする。
 - (2) 競技責任者は大会終了後、大会結果を大会本部（城北中学校）まで報告する。
 - (3) 団体競技の規定数は次のとおりとする。
バレーボール【12+①】 バスケットボール【15+①】 卓球【8】
ソフトテニス【8】 軟式野球【18】 ソフトボール【18】
サッカー【18】 柔道男子【7】 柔道女子【4】 剣道【7】
体操競技【5】 相撲【5】 テニス【10】
※ ①…マネージャー

参加状況及び競技方法等

学校名等 競技名	性 別	城 東	城 南	城 北	吉 田	三 間	津 島	宇 南	松 野	広 見	日 吉	団体 合計	競技 方法	県 新 人 枠
バレーボール	男	○							○			2	決勝	1
	女	○	○	○	○		○	○	○	○		8	予選リーグ・決勝トーナメント	2
バスケットボール	男	○	○	○		○	○	○				6	予選リーグ・決勝トーナメント	1
	女	○	○	○		○		○		○		6	予選リーグ・決勝トーナメント	1
卓球	男	○	○	○	○	○	○	○		○		8	予選リーグ・決勝トーナメント	2
	女	○	○	○	○	○	○	○		○		8	予選リーグ・決勝トーナメント	2
ソフトテニス	男	○	○	○			○	○		○	○	7	予選リーグ・決勝トーナメント	1
	女	○	○	○	○		○	○	○	○	○	9	予選リーグ・決勝トーナメント	2
軟式野球	共	○	○	○	○	○	○	○	○	○		9	トーナメント	2
ソフトボール	女			○								1	認定	1
サッカー	共	○	○	○	○		○	○		○		7	予選リーグ・決勝トーナメント	1
柔道	男	個		○	○	個	○		○			4	リーグ	2
	女	個		○		○	○		個			3	リーグ	3
剣道	男	○	○	○	○	○		○		個	○	7	予選リーグ・決勝トーナメント	2
	女				○	○		個		個	○	3	リーグ	1
体操競技	男											0		2
	女			○								1	認定	2
相撲	男							個				0		4
テニス	男					○						1	認定	全チーム
	女					○						1	認定	全チーム
団体合計		11	10	14	9	10	10	10	5	8	4			

◎ 各校名の表記 城東・城南・城北・吉田・三間・津島・宇南・松野・広見・日吉

大会本部役員

名誉大会長

大会副会長
大会顧問
大会委員

大会委員長
大会副委員長
大会委員

宇和島市教育委員会教育長
松野町教育委員会教育長
鬼北町教育委員会教育長
宇和島市中学校体育連盟会長
北宇和郡学校体育会会長
南予教育事務所長
宇和島市中学校体育連盟副会長
宇和島市立城北中学校長
宇和島市立吉田中学校長
宇和島市立三間中学校長
宇和島市立津島中学校長
愛媛県立宇和島南中等教育学校長
松野町立松野中学校長
鬼北町立日吉中学校長
北宇和郡学校体育会理事長
宇和島市中学校体育連盟理事長
宇和島市中学校体育連盟理事
宇和島市中学校体育連盟理事
宇和島市中学校体育連盟理事
宇和島市中学校体育連盟理事
宇和島市中学校体育連盟理事
北宇和郡学校体育会理事
北宇和郡学校体育会理事

和位亀二志樹幸平夫
吉 信 惠 秀 浅 一 久 仁 夫
田 井 本 定 浦 本 本 村 野 井 田 野 井 本 島 崎 谷 内 谷 井 瀬 内
織 森 筒 坂 行 松 山 岡 西 河 浅 池 平 今 柿 八 十 宮 梶 窪 梶 中 三 河 加 賀 山

救護員及び救急指定病院

競 技 名	会 場	救 護 員	救急指定病院
バレーボール	吉田町ふれあい運動公園	高山 佳代 (松野)	宇和島市御殿町 市立宇和島病院 (25-1111) 宇和島市広小路 鎌野整形外科 (24-6611) 宇和島市住吉町 宇和島徳洲会病院 (22-2811) 宇和島市吉田町 溜尾整形外科 (52-3133) 宇和島市三間町 松崎クリニック (58-4828) 宇和島市津島町 市立津島病院 (32-2011) 北宇和郡鬼北町 町立北宇和病院 (45-1221)
バスケットボール	宇和島市総合体育館	樋水 藍華 (城東)	
卓 球	鬼北総合公園	田村 廣美 (城南)	
ソフトテニス	津島プレーランド	森岡 初美 (日吉)	
軟 式 野 球	丸山公園野球場	芝 久美 (広見)	
	吉田公園野球場	上田 宏子 (吉田)	
サ ッ カ ー	丸山公園陸上競技場	松井 眞澄 (城東)	
	丸山公園多目的グラウンド	加洲由花留 (城北)	
柔 道	宇和島市総合体育館	樋水 藍華 (城東)	
剣 道	三間町国民体育館	宮部 美香 (宇南)	
体 操 競 技	宇和島市立津島中学校	岡田 久美 (津島)	
テ ニ ス	三間町運動公園	松浦 香代 (三間)	

※ 救護員は、大会2日目も同じ会場を担当する。

バレーボール

○ 競技責任者 山 宮 齋 (城 東)

○ 会場責任者 窪 内 秀 世 (吉 田)

○ 審 判 長 村 上 嘉 生 (松 野)

○ 審 判 員

山 下 音 幸 (城 東) 宮 崎 つる乃 (城 南) 菊 岡 聡次朗 (城 北)

窪 内 秀 世 (吉 田) 都 能 伸太郎 (津 島) 阿 部 純 奈 (松 野)

小 川 英 志 (広 見) 三 好 君 人 (宇 南) 得 能 光 司 (愛 宕)

加 藤 真 二 (明 浜) 田 村 耕一郎 (宇 和) 加 洲 成 人 (宇和島東高)

渡 邊 和 (三間高) 赤 松 敏 章 (北宇和高) 山 口 貴 史 (宇 南)

○ 競 技 方 法 男子は決勝のみ、女子は予選ゾーンリーグ後、決勝トーナメントとする。

○ 競 技 規 定

1 2016年度(公財)日本バレーボール協会制定6人制競技規則及び競技要項に準ずる。

※ リベロプレーヤーについては、(公財)日本中体連バレーボール競技部取り扱いのルールで行う。登録は、2名以内とする。

2 ベンチに入れる者は、選手12名以内と監督・コーチ・マネージャー各1名とする。監督は、当該校の校長又は教員であり、引率者としての責任を負う。コーチは、当該校の校長が認めた者とする。マネージャーは、生徒に限る。

なお、コーチが外部指導者(コーチ)の場合は、当該校の校長が認めた者で、外部指導者(コーチ)証を付けること。

3 監督・コーチ・マネージャーは、必ず規定のマークを左胸部に付けること。

4 監督・コーチの服装は、統一されたものが望ましい。(短パン、ランニングは不可)

5 決勝トーナメントは試合時間を設定する。設定時間を過ぎる場合は、準決勝2試合目は追い込み、決勝戦は準決勝終了後20分後にプロトコールを開始する。

6 ラインアップシートは、公式練習時に審判に提出する。

7 ネットの高さは、男子2m30cm、女子2m15cmとする。

8 ボールは4号球で、人工皮革・カラーボールを使用する。(男：モルテン、女：ミカサ)

組 合 せ

バレーボール男子 決勝 (Bコート)

城東 (〓) 松野

バレーボール女子 (A・Cコート)

Aゾーン

	松野	吉田	宇南	城北	勝	負	順位
松野		(〓)	(〓)	(〓)			
吉田	(〓)		(〓)	(〓)			
宇南	(〓)	(〓)		(〓)			
城北	(〓)	(〓)	(〓)				

Bゾーン

	城東	津島	城南	広見	勝	負	順位
城東		(〓)	(〓)	(〓)			
津島	(〓)		(〓)	(〓)			
城南	(〓)	(〓)		(〓)			
広見	(〓)	(〓)	(〓)				

1日目試合順

	Aコート	Bコート	Cコート
①	松野 — 吉田	城東 — 松野 (男子決勝)	城東 — 津島
②	宇南 — 城北	—	城南 — 広見
③	松野 — 宇南	—	城東 — 城南
④	吉田 — 城北	—	津島 — 広見
⑤	松野 — 城北	—	城東 — 広見
⑥	吉田 — 宇南	—	津島 — 城南

決勝トーナメント (大会2日目・Aコート)

準決勝

A 1 位		(〓)		B 2 位
B 1 位		(〓)		A 2 位

決勝

①勝者		(〓)		②勝者
-----	--	-------	--	-----

2日目試合順

	Aコート	開始時刻
①	A 1 位 — B 2 位	9:00
②	B 1 位 — A 2 位	10:00
③	①の勝者 — ②の勝者	12:00

バスケットボール

○ 競技責任者 西 田 裕 充 (城 南)

○ 会場責任者 三 瀬 修 平 (宇 南)

○ 審 判 長 二 神 信 次 郎 (城 東)

○ 審 判 員

松 本 崇 宏 (南バ協) 岡 森 康 年 (南バ協) 佐 伯 隆 生 (南バ協)

宇 田 浩 二 (南バ協) 石 川 雅 之 (南バ協) 金 谷 純 代 (南バ協)

坂 本 正 虎 (南バ協) 梅 田 望 (南バ協) 清 家 規 晶 (南バ協)

西 田 卓 史 (南バ協) 丸 山 貴 広 (南バ協) 佐 竹 克 哉 (南バ協)

渡 邊 孝 平 (南バ協)

○ 運 営 員

檜 垣 昌 代 (城 北) 兵 頭 博 史 (城 北) 池 田 やよい (城 南)

山 田 央 (宇 南) 山 下 真 人 (城 南) 河 内 清 志 (松 野)

中 井 孝 一 (三 間) 成 宮 伸 亮 (三 間) 毛 利 和 麻 (城 東)

小 島 啓 法 (津 島) 松 本 智 昭 (広 見) 泉 野 武 憲 (宇 南)

○ 競技方法 男女ともに1日目に予選リーグ、2日目に決勝トーナメントとする。

○ 競技規定

1. 2015～(公財)日本バスケットボール協会規則による。

ただし、ユニフォームの規定は採用しない。

2. 試合球は(公財)日本バスケットボール協会検定球、男子は7号・女子は6号皮革製とする。

3. ベンチは、組み合わせ番号の小さい方がオフィシャル席に向かって右側とする。

4. ユニフォームの色は組み合わせ番号の小さい方が白色とする。

5. メンバー表はゲーム開始10分前までにオフィシャル席と相手チームに提出する。

6. アンダーガーメントを着用する場合はユニフォームと同色とする。

7. ベンチに入る者は登録された選手15名と監督・コーチ・マネージャー各1名とする。監督は出場校の校長・教員(非常勤は除く)とし、コーチは校長の認めた者とする。また、マネージャーは、出場校の教員または生徒とする。ただし、教員以外の指導者の場合は、試合中証明書を確認できるようにしておく。

8. 監督あるいはコーチのうち1人だけは、ゲーム中、ベンチエリア内で立ちつづけることを認める。両者は、1人ずつであれば交互に立ちつづけることも許されるが、同時に立ちつづけることは認めない。

9. ゾーンディフェンスは認めない。

バスケットボール 組合せ

(男子)

1日目

		宇南	津島	城北	勝敗	得失点差	順位
Aブロック	宇南		②	⑥			
	津島	②		④			
	城北	⑥	④				

A② 10:20

A④ 13:00

A⑥ 15:40

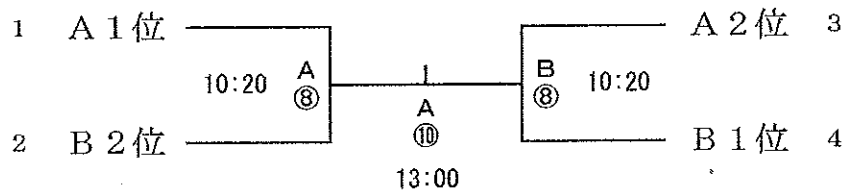
		三間	城東	城南	勝敗	得失点差	順位
Bブロック	三間		②	⑥			
	城東	②		④			
	城南	⑥	④				

B② 10:20

B④ 13:00

B⑥ 15:40

2日目



(女子)

1日目

		宇南	城東	城北	勝敗	得失点差	順位
Aブロック	宇南		①	⑤			
	城東	①		③			
	城北	⑤	③				

A① 9:00

A③ 11:40

A⑤ 14:20

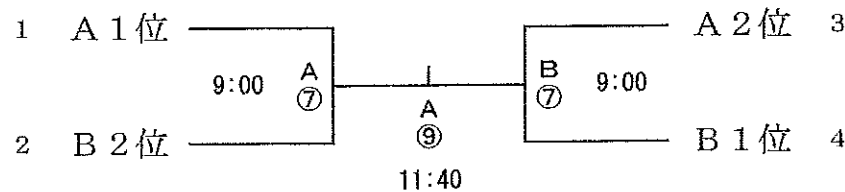
		三間	城南	広見	勝敗	得失点差	順位
Bブロック	三間		①	⑤			
	城南	①		③			
	広見	⑤	③				

B① 9:00

B③ 11:40

B⑤ 14:20

2日目



卓 球

- 競技責任者 前 田 哲 伸 (城 北)
- 会場責任者 兵 頭 香 菜 (広 見)
- 審 判 長 葛 川 由 美 (広 見)
- 運 営 員 水 藤 充 彦 (津 島)
- 運 営 員 小 池 長八郎 (宇 南)
- 運 営 員 利 根 建 樹 (城 北)

○ 参 加 規 定

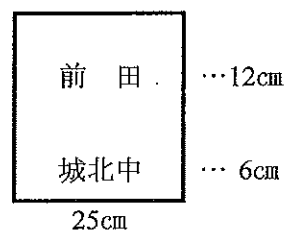
1. 団体戦 同一校の選手4～8名以内、監督1名をもって編成登録する。なお、監督の他にコーチとして、出場校の教職員もしくは校長の承認を得た外部指導者（コーチ）どちらか1名のベンチ入りを認める。
2. 個人戦 シングルスとダブルスは、兼ねることができない。なお、アドバイザーとして、1名のベンチ入りを認める。ただし、監督または、当該校の教職員、校長の承認を得た外部指導者、生徒のいずれかとする。

○ 競 技 方 法

1. 男女とも、団体戦は予選リーグ、決勝トーナメント戦、個人戦はトーナメント戦とする。
2. 1日目に団体戦を行い、2日目に個人戦を行う。

○ 競 技 規 定

1. 現行の（財）日本卓球協会ルールを適用する。（全ての試合で、タイムアウト・促進ルールを適用する。）
2. ユニフォームの背部に右のゼッケンをつける。（同姓の場合は名を一字だけ加える。）
3. オーダー用紙は、相互交換とする。



4. 使用球は、硬式公認球プラスチックホワイトとする。（T S P）（40mm）

（注）

- ① サービスは16cm以上投げ上げること。
- ② 試合中のタオル使用は、6本ごとのサービス交代時のみとする。
（最終ゲームは、チェンジコート時のみとする）
- ③ ゼッケンは、日本卓球協会のものも認める。
- ④ ツブ高ラバー及びラバーの接着等を含め、審判長の判断でラケット交換を要求することができる。
- ⑤ ペンホルダーのラケットは、表裏を赤黒の異色にする。

組合せ

卓球 団体 (男子)

予選

Aゾーン		城東	吉田	城南	津島	勝敗	順位
1	城東						
2	吉田						
3	城南						
4	津島						

A 1	城東	—	吉田	A 2	城南	—	津島
A 3	城東	—	城南	A 4	吉田	—	津島
A 5	城東	—	津島	A 6	吉田	—	城南

Bゾーン		宇南	三間	城北	広見	勝敗	順位
1	宇南						
2	三間						
3	城北						
4	広見						

B 1	宇南	—	三間	B 2	城北	—	広見
B 3	宇南	—	城北	B 4	三間	—	広見
B 5	宇南	—	広見	B 6	三間	—	城北

決勝トーナメント

Aゾーン 1位						Aゾーン 2位
Bゾーン 2位						Bゾーン 1位

卓球 団体 (女子)

予選

Aゾーン		城東	城北	広見	城南	勝敗	順位
1	城東						
2	城北						
3	広見						
4	城南						

A 1	城東	—	城北	A 2	広見	—	城南
A 3	城東	—	広見	A 4	城北	—	城南
A 5	城東	—	城南	A 6	城北	—	広見

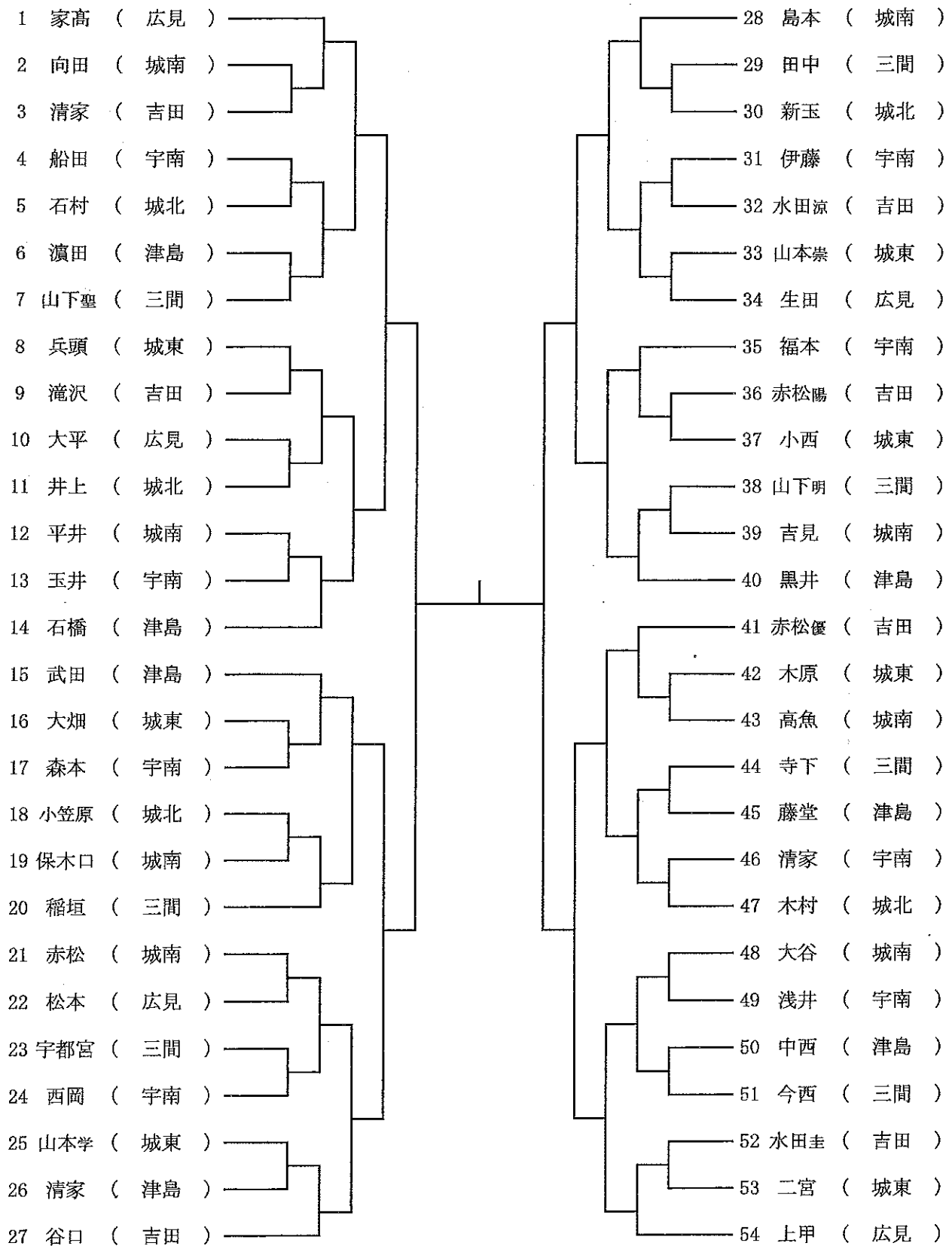
Bゾーン		宇南	三間	吉田	津島	勝敗	順位
1	宇南						
2	三間						
3	吉田						
4	津島						

B 1	宇南	—	三間	B 2	吉田	—	津島
B 3	宇南	—	吉田	B 4	三間	—	津島
B 5	宇南	—	津島	B 6	三間	—	吉田

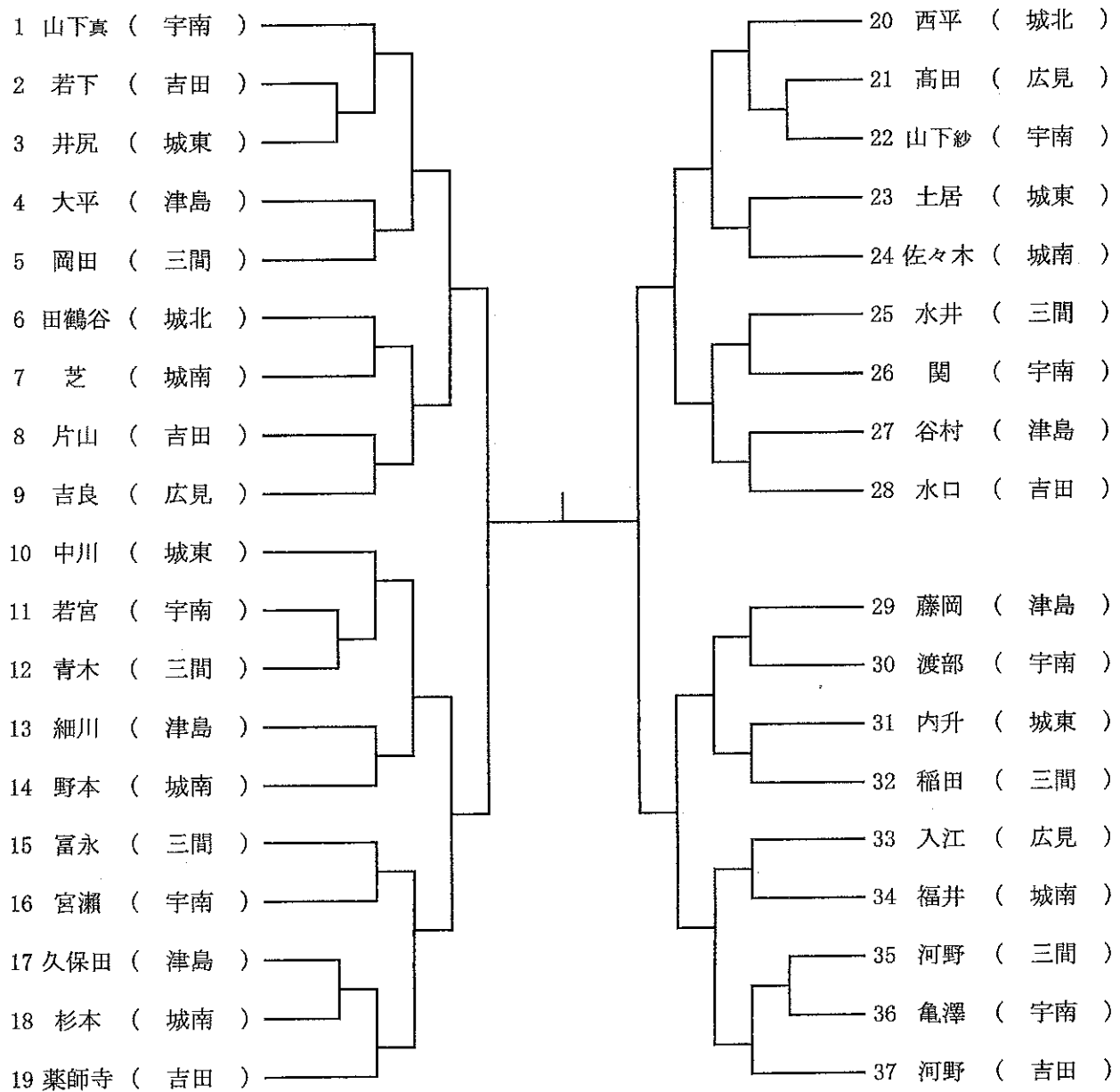
決勝トーナメント

Aゾーン 1位						Aゾーン 2位
Bゾーン 2位						Bゾーン 1位

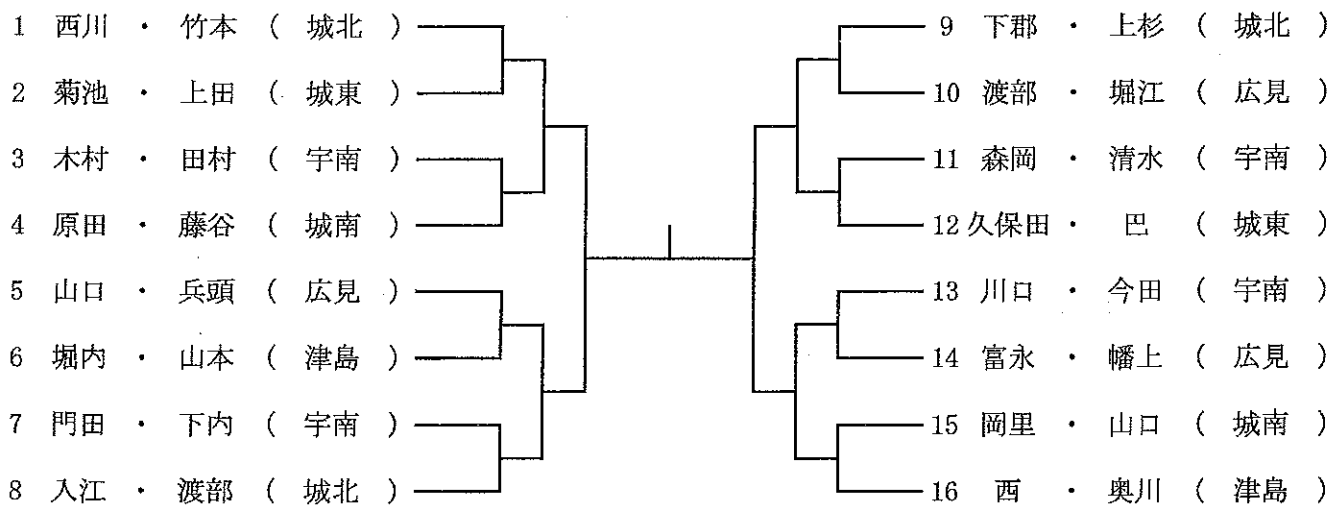
卓球 個人戦 シングル (男子)



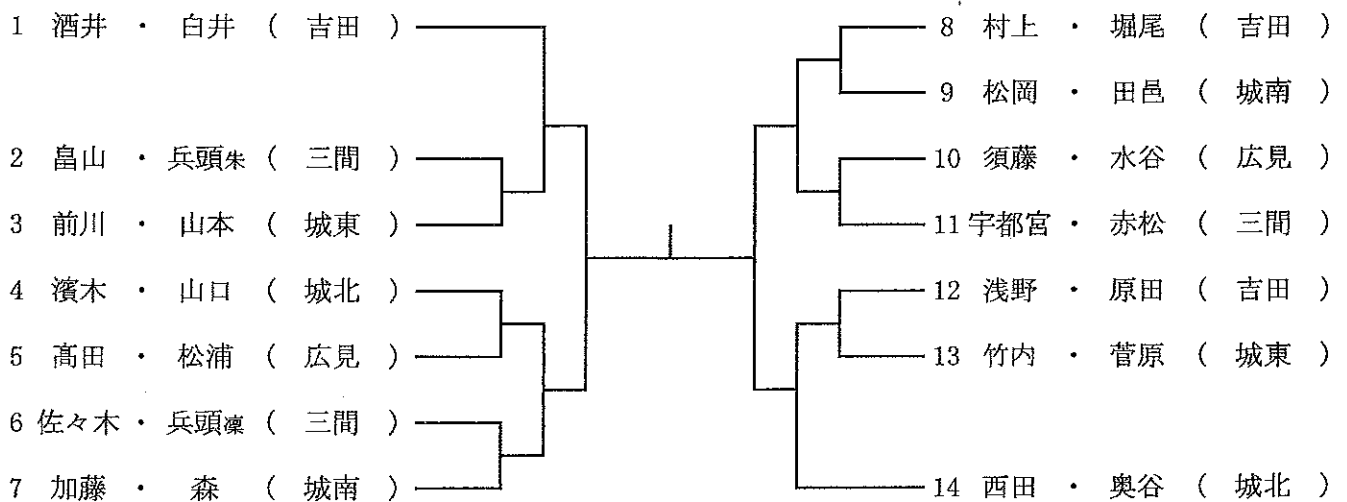
卓球 個人戦 シングルス (女子)



卓球 個人戦 ダブルス (男子)



卓球 個人戦 ダブルス (女子)



ソフトテニス

○ 競技責任者 中 村 慎 吾 (津 島)

○ 会場責任者 河 野 明 生 (津 島)

○ 審 判 長 今 井 純 (城 東)

○ 審 判 員

河 野 明 生 (津 島) 今 井 純 (城 東) 中 村 慎 吾 (津 島)

藤 原 和 憲 (城 南) 木 下 恵 理 (城 北) 垣 内 洋 範 (城 北)

濱 田 町 子 (宇 南) 木 口 富 惣 (広 見) 岡 田 幸 俊 (広 見)

柿 本 弘 樹 (日 吉) 中 村 志 帆 (日 吉)

○ 参加規定

1. 団体戦は、同一校の選手4名以上8名以内と監督1名で構成する。

2. 個人戦は、同一校の選手2名と監督1名で構成する。

○ 競技方法

1. 団体戦は、2つのゾーンに分けリーグ戦を行い、各ゾーンの1位と2位を組み合わせてトーナメント戦を行う。試合は予選リーグ、決勝トーナメントともに7ゲームマッチで行う。

2. 団体戦において、4名(2ペア)で出場する場合は、第1・2対戦に出場し、第3対戦を不戦敗とする。

3. 個人戦はトーナメントとし、試合は7ゲームマッチで行う。

4. 団体戦を1日目に、個人戦を2日目に実施する。

○ 競技規定

1. 現行の(公財)日本ソフトテニス連盟「ソフトテニスハンドブック」および大会要項による。

2. 使用球は公認球(白色)とする。

3. ユニフォームは、上は襟付半袖のスポーツシャツ、下は膝より上のパンツ・スカートを着用すること。ただし、服装(用具を含めて)の色等は、華美(蛍光色など)にならないようにする。上記の服装から外へ出るハイネック等のアンダーシャツやスパッツの着用は認めない。シャツの裾を外に出したり、袖をまくることはしない。また、ユニフォームは、文言や記号を後から記入もしくは印刷して使用してはいけない。

4. 監督・選手ともにテニスシューズを着用する。

5. ソックスの長さについては、くるぶしより上で、ハイソックスは認めない。

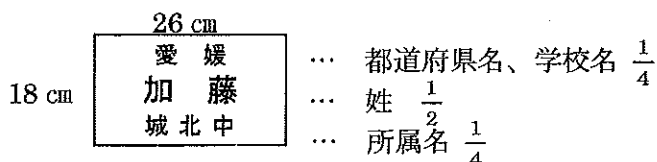
6. ハチマキ・帽子・サンバイザーには、正面に特別な文字や記号を記入もしくは印刷し、使用してはいけない。

7. 背中のゼッケンを各校で別の布などで作成し、背中に縫いつけること。着脱しやすいようにホック・マジックテープで止めることは可とする。ただし、安全ピンは不可とする。すでにプリントされている文字は隠すように止めつけるものとする。

(1) ゼッケンは、B5判横(白地)の大きさの布に都道府県名、学校名、姓を記述する。都道府県名の「都府県」の文字は付けないものとする。中学校は「中」と表記する。

- (2) ゼッケンの文字は「漢字」、「ひらがな」、「カタカナ」を使用し、文字色は「黒」とする。
シャツそのものへのプリントは認めない。
- (3) ゼッケンの文字の位置は下図のとおりとし、同一校に同姓の選手がいる場合には、名前の一部も付け加える。
- (4) 下図のように、(公財)日本ソフトテニス連盟で示されている三段とする。ただし、従来の二段表記も可とする。(平成28年度からは不可とする。)

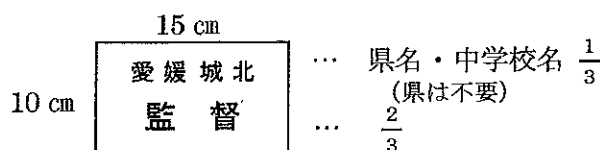
[選手のゼッケン]



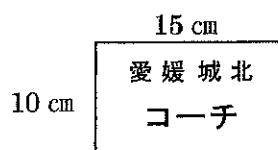
○ 競技上の注意事項

1. オーダーは試合ごとに2部作成し、1部を試合後に本部に提出する。
2. 個人戦の場合も、監督・コーチ(教員・外部指導者)はベンチに入ってもよい。個人戦は、出場ペア数まで監督・コーチをおくことができる。コーチ(教員・外部指導者)は、申込書に必ず明記しておくこと。
3. 監督・コーチは、襟付きのスポーツウェア、テニスシューズを着用のこと。また、監督・コーチは左胸にゼッケンをつけること。(文字、生地の色は特に指定しない。)外部指導者は中体連が定める外部指導者証も所持すること。
4. ベンチ外からのコーチは禁止する。(イエローカードの提示の対象とする。)
5. 外部指導者(コーチ)がベンチに入る場合は、監督は必ずコート周辺に待機すること。
6. 個人戦において、同一校のペアが隣り合う2面のコートで競技をする場合のみ、ベンチに入っている監督・コーチは、両ペアのコーチをすることができる。

[監督のゼッケン]



[コーチのゼッケン]



組合せ

ソフトテニス 団体 (男子)

Aゾーン		城北	津島	宇南	広見	勝敗	順位
1	城北					—	
2	津島					—	
3	宇南					—	
4	広見					—	

A 1	城北	—	津島	A 2	宇南	—	広見
A 3	城北	—	宇南	A 4	津島	—	広見
A 5	津島	—	宇南	A 6	城北	—	広見

Bゾーン		城東	日吉	城南	勝敗	順位
1	城東				—	
2	日吉				—	
3	城南				—	

B 1	城東	—	日吉
B 2	日吉	—	城南
B 3	城東	—	城南

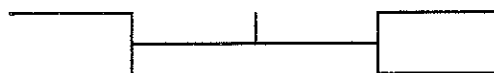
決勝トーナメント

Aゾーン

1位

Bゾーン

2位



Aゾーン

2位

Bゾーン

1位

ソフトテニス 団体 (女子)

Aゾーン		広見	城南	城北	松野	城東	勝敗	順位
1	広見						—	
2	城南						—	
3	城北						—	
4	松野						—	
5	城東						—	

A 1	広見	—	城南	A 2	城北	—	松野
A 3	城南	—	城東	A 4	広見	—	城北
A 5	松野	—	城東	A 6	城南	—	城北
A 7	広見	—	松野	A 8	城北	—	城東
A 9	城南	—	松野	A 10	広見	—	城東

Bゾーン		日吉	宇南	津島	吉田	勝敗	順位
1	日吉					—	
2	宇南					—	
3	津島					—	
4	吉田					—	

B 1	日吉	—	宇南	B 2	津島	—	吉田
B 3	日吉	—	津島	B 4	宇南	—	吉田
B 5	宇南	—	津島	B 6	日吉	—	吉田

決勝トーナメント

Aゾーン

1位

Bゾーン

2位



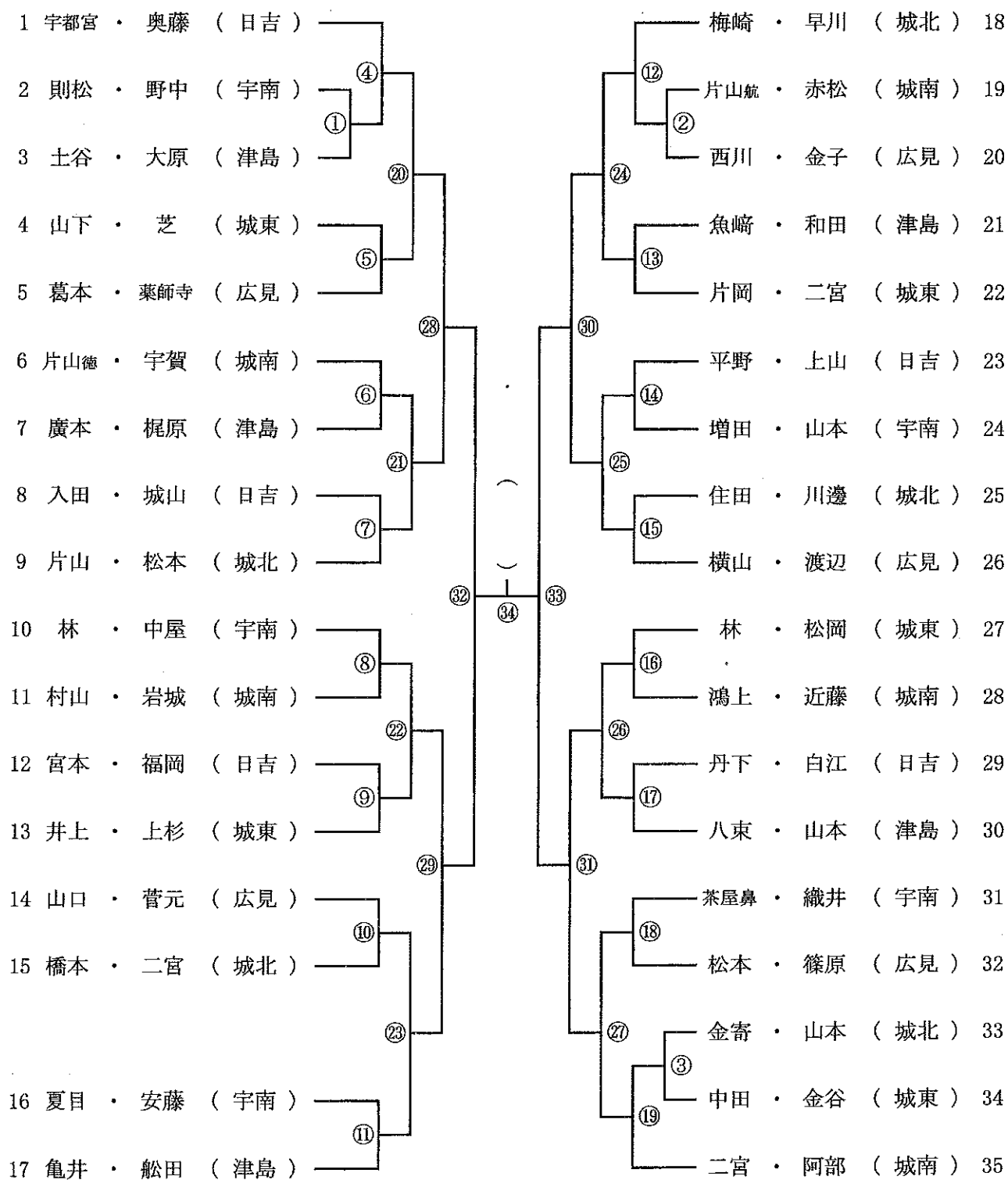
Aゾーン

2位

Bゾーン

1位

ソフトテニス 個人(男子)

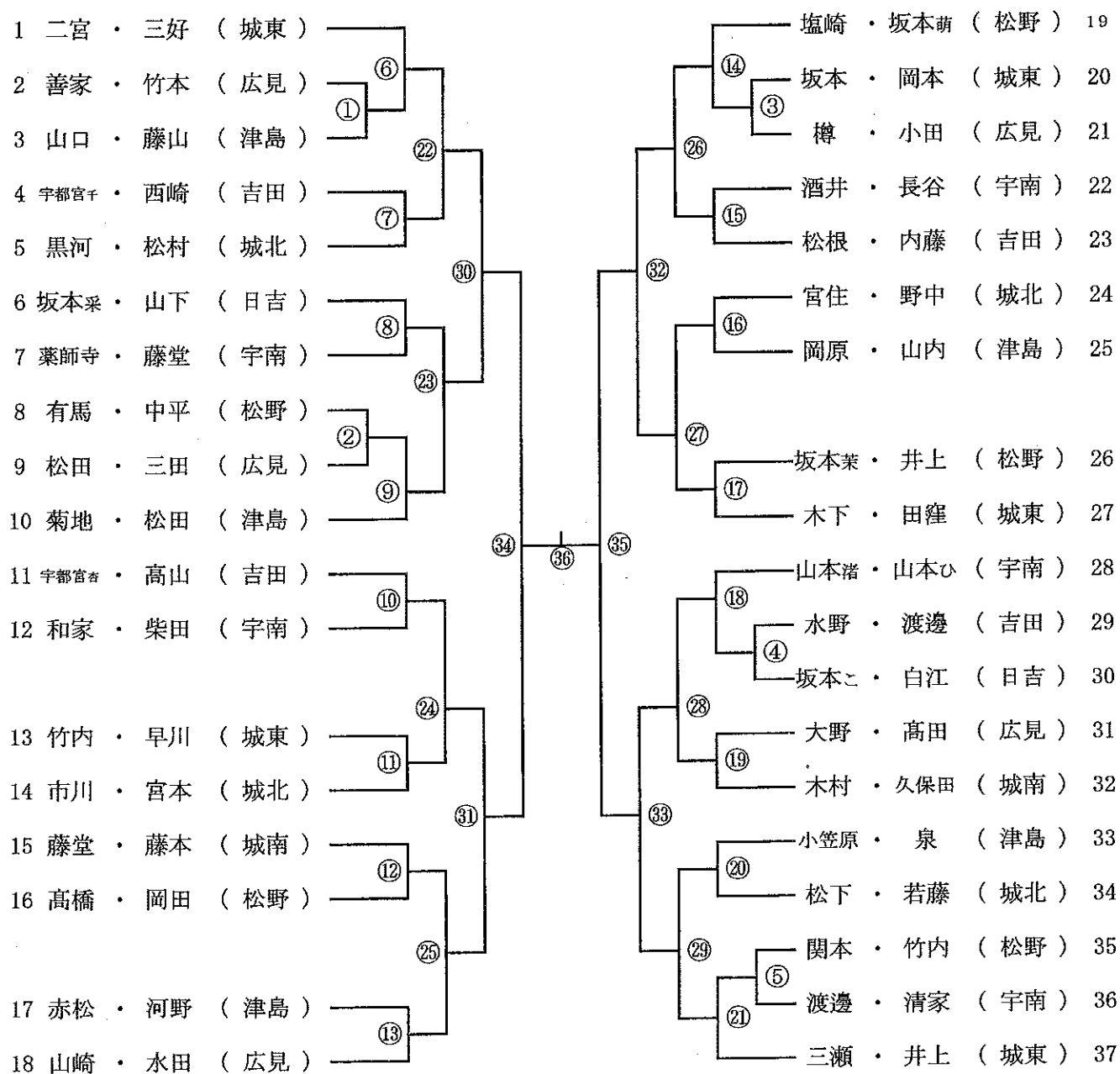


3位決定戦

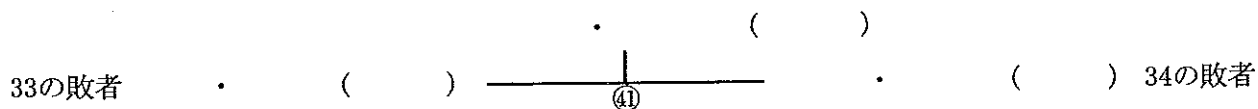
の敗者

の敗者

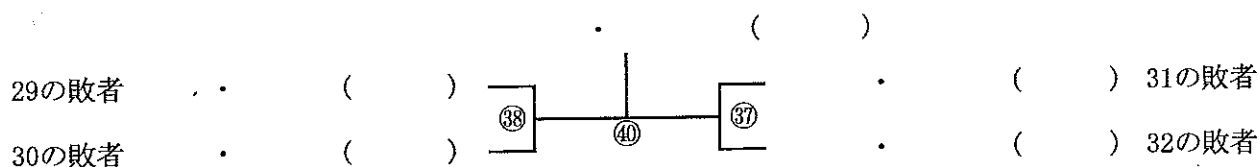
ソフトテニス 個人 (女子)



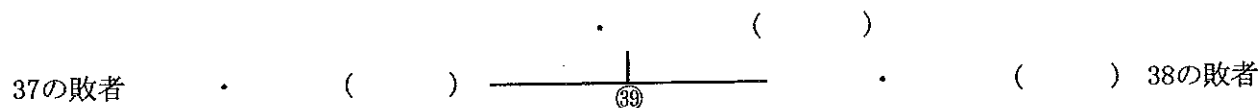
3位決定戦



5位から8位までの順位決定トーナメント



7位決定戦



軟 式 野 球

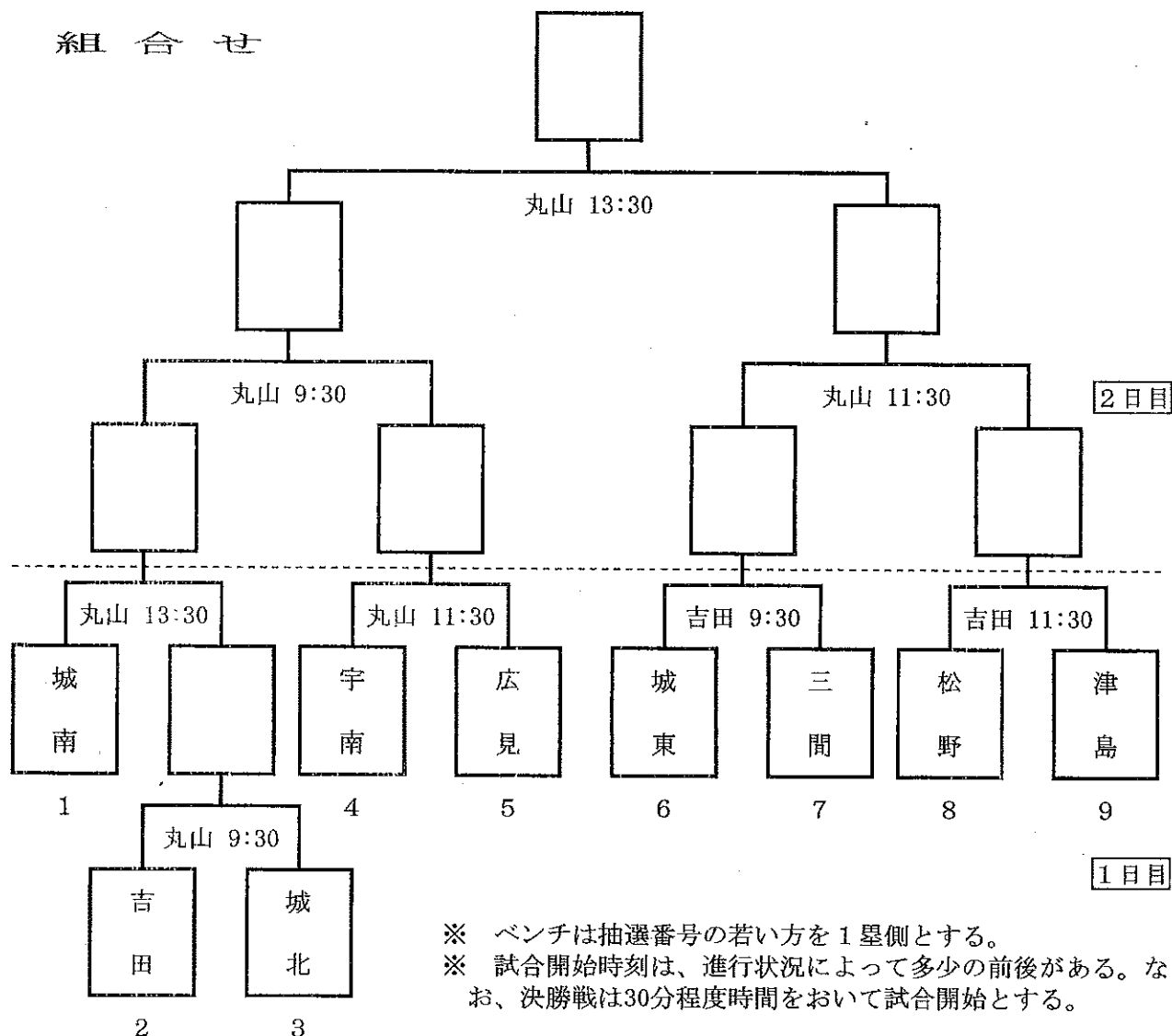
- 競技責任者 山 口 功 一 (城 南)
- 会場責任者 (丸山公園野球場) 山 口 功 一 (城 南)
(吉田公園野球場) 檜 垣 賢 一 (津 島)
- 審 判 長 浅 野 秀 夫 (宇 南)
- 審 判 員

渡 辺 卓 一 (宇 軟 野 連)	若 藤 重 喜 (宇 軟 野 連)	酒 井 文 男 (宇 軟 野 連)
本 山 順 一 (宇 軟 野 連)	松 崎 陽 介 (宇 軟 野 連)	清 家 康 太 (宇 軟 野 連)
浅 川 幸 治 (宇 軟 野 連)	山 村 司 (宇 軟 野 連)	二 神 崇 雄 (宇 軟 野 連)
- 運 営 員

山 西 秀 樹 (城 東)	宮 本 映 (城 南)	水 野 俊 英 (城 北)
水 野 文 隆 (吉 田)	井 上 雅 文 (三 間)	松 井 仁 志 (三 間)
薬師寺 晃 (宇 南)	竹 葉 弘 一 (広 見)	家 高 勉 (広 見)
酒 井 博 司 (松 野)	田 中 秀 忠 (宇 和 島 東)	
- 競 技 方 法
 1. 全試合トーナメント方式とし、各試合は7回戦とする。
 2. 5回以降7点差でコールドゲームを適用する (決勝戦は適用しない)。
 3. 延長戦は9回 (決勝戦は12回) までとし、それでも勝敗が決しない場合は特別延長戦を行う。
- 競 技 規 定
 1. 2016年度公認規則及び大会特別規程による。投手のイニング制限は適用しない。ホームのブロックに関する変更点に注意する。
 2. 1チームの編成は、監督 (引率責任者) 1名、選手18名以内 (スコアラーを含む) とする。また、この他に教員を2名追加することができる。監督は出場校の教員とする。外部指導者 (コーチ) が入る場合は1名とし、出場校の校長が認めコーチ証を所持した者とする。
 3. 選手・監督は、ユニフォーム、アンダーシャツは同一のものを使用し (一番上から11cmの位置に) 背番号を付ける (背番号は、選手は1から18番、監督は30番とする)。監督・外部指導者 (コーチ) は、原則として選手と同一のユニフォーム・スパイクを着用する。サングラスは使用しない。引率教員は平服でも良いが、平服の場合はグラウンドには入れない。
 4. 第1試合のメンバー用紙交換及び攻守決定は、試合開始40分前とする。第2試合以降は前試合の4回終了時とする。各チームの監督と主将は、メンバー表を4部持って、打ち合わせをする。
 5. シートノックは、後攻側より始め、通告時より7分以内とする (運営上、短縮・省略することもある)。また、試合前の練習及びノックは登録選手以外に3名の補助員をつけることができる。ノッカーは選手と同一のユニフォーム・スパイクを着用する。
 6. 試合成立は5回とし、暗黒・降雨によるコールドゲームは適用する。暗黒・降雨などで試合が5回以前に中止となった場合、5回以降同点で中止の場合は、翌日の第1試合に先立って特別継続試合を行う。ただし、決勝戦は再試合とする。
 7. 攻守交代は全力疾走で行い、先頭打者とベースコーチは、ミーティングに参加せず、所定の位置につく。投手またはプレートに最も近い野手が球を投手板近くに置く。
 8. 試合中の球場内では、次打者以外は素振りなどをしてはいけない。その際、投手の投球が始まったら次打者席で低い姿勢で待つ。
 9. 選手交代の申し出は、監督が行う。コーチは、試合前のノック時以外は、ベンチから出ない。
 10. メガホンの使用は、監督のみとする。
 11. 審判員に対して規則適用上の疑義については、当事者と監督が直接、質問できる。
 12. 危険防止のため次のことを徹底する。
 - ① バットリング、鉄棒等の球場への持込を禁止する。

- ② 足を上げてのスライディングは禁止し、現実には妨害になった場合は走者をアウトとする。
- ③ 捕手のレガース・プロテクター・ヘルメット・スロートガード・ファウルカップと（捕手・予備捕手は安全のためマスクをかぶる）、打者と走者及びシートノック時にノッカーにボールを渡す選手の両耳付きヘルメットは必ず着用する。ベースコーチとバットボーイは危険防止のためにヘルメットを着用する。また、リストバンド及びハイカットストッキング、ユニフォームのロングズボン禁止する。
- ④ 捕手は、ボールを持たないでベースパスの範囲に足を置くことができない。ボールを捕球する動きの中でベースパス内に足を踏み入れることは違反ではない。
- ⑤ 捕手がボールを保持しベースパス内で膝をつく姿勢は、走者の走路を妨害したとしてオブストラクションが宣告される。ただし、送球がショートバウンドとなり膝をついた状態で捕球し、そのままタッグプレーとなった場合は、捕球する中の動きであり違反ではない。
13. 投手を含む野手3人以上が、一試合に投手の所に集まれる回数を3度以内とする。なお、延長戦は2回に一度行くことができる。監督が、同一回に同一投手のところへ二度目に行くか、行ったとみなされた場合は、投手を交代しなければならない。
14. 応援団は、紙吹雪・テープ・個人名の書いたのぼり等の応援禁止する。また、相手チームに不利を招くような応援（やじ等）やゲームを妨害するような応援をしない。
15. 選手の頭髮や身なりは中学生らしくあること。試合中・前後でのマナーを十分に考慮する。
16. 選手のテーピングは肌色に近いものを用い、投手は投球に影響を与えるものは使用できない。
17. 本塁打を打った打者に握手等を求めるために、グラウンドには出てはいけない。
18. ベースコーチは、打者が打つまでは、打者より一番遠い枠内の位置にいる。

組 合 せ



サ ッ カ ー

- 競技責任者 松 本 賢 吾 (城 南)
- 会場責任者 (丸山公園多目的グラウンド) 岩 下 撰 (城 北)
(丸山公園陸上競技場) 松 本 賢 吾 (城 南)
- 審 判 長 加賀山 和 宏 (広 見)
- 審 判 員
松 本 賢 吾 (城 南) 岩 下 撰 (城 北) 富 永 尚 之 (城 北)
田 中 裕 之 (宇 南) 松 浦 一 晴 (宇 南) 宮 下 和 昭 (城 南)
小 西 孝 幸 (吉 田) 清 家 稔 (城 東) 揚 野 豪 恭 (津 島)
浄 光 英 紀 (協 会) 三 好 史 彦 (協 会) 藤 田 充 基 (協 会)
窪 地 育 哉 (協 会) 大 塚 隆 三 (協 会) 赤 松 弘 教 (協 会)
青 木 広 樹 (協 会) 中 村 太 郎 (協 会) 薬師寺 照 之 (協 会)

○ 競技方法

1. ゾーンリーグ・トーナメント方式とする。
2. 試合時間は60分(30分ハーフ)とする。ゾーンリーグの順位は、①勝ち点、②得失点、③総得点、④当該チームの対戦成績の順により決定する。それでもなお決しない場合は、当該チーム同士のPK方式により順位を決定する。準決勝・決勝において勝敗が決しない時は、最大10分間(5分ハーフ)の延長戦を実施し、なお決しないときには再度、10分間(5分ハーフ)の延長戦を実施する。それでもなお決しないときにはPK方式により勝敗を決定する。
3. (公財)日本サッカー協会の熱中症対策ガイドラインに定義されている通り、会場にはWBGT計を準備し、その数値に応じて飲水タイムを設けることや、Cooling Breakを行うことがある。ただしその決定は、監督会議で行うものとする。

○ 競技規定

1. (公財)日本サッカー協会の「サッカー競技規則2015/2016」による。
2. 選手登録は18名以内とし、競技開始前に登録した最大7名の交代要員の中から、7名までの交代が認められ、1度退いた競技者は再び出場することができない。但し、交代の手続きは従来通りサッカー競技規則第3条に則って行う。
3. 試合球は、公認球(5号)とし、競技規則第2条に適合するものとする。
4. 本大会において退場を命じられた選手は次の1試合に出場できず、違反行為の内容によっては競技責任者、審判長、審判員でそれ以降の措置について決定する。
5. 本大会期間中、警告を2回受けた選手は次の1試合に出場できない。
6. 各チームは監督1名、選手18名に加え、引率者1名、コーチ1名(すべて監督が兼ねることができる)、校長のうち2名までがベンチ入りすることができる。

○ 注意事項

1. ユニフォームは登録されたものを使用すること。背番号は1番から99番までとする。必ず正・副(上衣、パンツ、ストッキング)2着を用意すること。
2. 審判員と同一または類似色のみのユニフォームのシャツを用いることはできない。ゴールキーパーについても同様である。
3. 雷発生の危険性が高い場合は、直ちに試合を中断し、その後の処置については大会本部もしくは大会役員で決定する。

サッカー

Aゾーン(多目的グラウンド)

	1 吉田	2 城北	3 城東	4 津島	勝	分	負	順
1 吉田		(-)		(-)				
2 城北	(-)		(-)					
3 城東		(-)		(-)				
4 津島	(-)		(-)					

第1試合 : 吉田 - 城北
9:30~ (60分ゲーム)

第2試合 : 城東 - 津島
10:45~ (60分ゲーム)

第3試合 : 吉田 - 津島
13:30~ (60分ゲーム)

第4試合 : 城北 - 城東
14:45~ (60分ゲーム)

Bゾーン(陸上競技場)

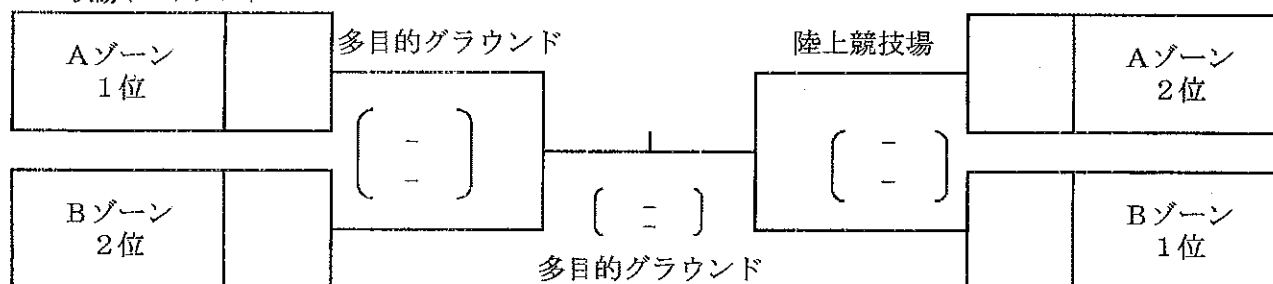
	1 広見	2 宇南	3 城南	勝	分	負	順
1 広見		(-)	(-)				
2 宇南	(-)		(-)				
3 城南	(-)	(-)					

第1試合 : 広見 - 宇南
9:30~ (60分ゲーム)

第2試合 : 宇南 - 城南
12:00~ (60分ゲーム)

第3試合 : 広見 - 城南
14:30~ (60分ゲーム)

決勝トーナメント



準決勝 : 9:30~

決勝 : 13:30~

柔

道

- 競技責任者 梶谷 宗範 (津島)
- 会場責任者 山口 恵利 (城東)
- 審判長 梶谷 啓介 (城北)
- 審判員
 - 毛利 武志 (城南) 山下 孝文 (宇和島東高) 日野 琢 (宇和島東高)
 - 梶田 浩 (鬼城柔) 河辺 泰司 (鬼城柔) 梶原 純 (吉田柔)
 - 柏田 訓 (津島柔) 田村 康雄 (津島柔) 福島 亮 (津島柔)
 - 信崎 恵一 (松野柔)
- 救護員 細田 英樹 (医師)
- 運営員
 - ・ 受付 森下 治子 (津島) 西浦 由佳 (松野)
 - ・ 体重測定 男子 梶谷 啓介 (城北) 山口 恵利 (城東)
 - 女子 浅野 朝子 (吉田) 毛利 武志 (城南)
 - ・ 本部記録 森下 治子 (津島)
 - ・ 表彰 浅野 朝子 (吉田)
 - ・ 試合場係 第1試合場 山口 恵利 (城東) 若下 富美 (城北)
 - 第2試合場 西浦 由佳 (松野) 渡邊 美樹 (三間)

○ 競技方法

1. 団体戦

- (1) 男女ともリーグ方式とする。
- (2) 男子は1チーム5人制、女子は1チーム3人制により試合を行う。
- (3) チーム編成は、男女とも体重の重い者を大将とし、以下順次体重順とする。交代の選手と入れ替えた場合においても、同様に体重順とする。試合毎の選手位置の入れ替え及び一度退いた選手の再出場は認めない。
- (4) 試合時間は3分間とし、代表戦における延長戦(ゴールデンスコア)は無制限とする。
- (5) 優勢勝ちの判定基準は、「有効」以上又は「僅差(『指導』の差2以上)」とする。
- (6) 優劣の成り立ちは以下のとおりとする。

「一本」＝「反則勝ち」＞「技あり」＞「有効」＞「僅差」

- (7) リーグ方式では、チーム間の内容が同等の場合は引き分けとする。また、リーグ方式の順位は次の方法によって決定する。
 - ① チーム間における勝ち、引き分け、負けの率による。
 - ② ①において同等の場合は、勝ち数の合計による。
 - ③ ②において同等の場合は、勝ちの内容により決定する。
 - ④ ③において同等の場合は、負け数の合計による。
 - ⑤ ④において同等の場合は、負けの内容により決定する。
 - ⑥ ⑤において同等の場合は、1名による代表戦を1回行う(3校同等の場合は、代表者3名によるリーグ方式を行う)。
- (8) トーナメント方式の勝敗は、次の方法によって決定する。
 - ① チーム間における勝ち数による。
 - ② ①において同等の場合は、内容により決定する。
 - ③ ②において同等の場合は、1名による代表戦により決定する。
- (9) 代表戦は任意の選手とし、判定基準は個人戦と同様とする。3分間の本戦を行い、得点差が無い場合は延長戦(ゴールデンスコア)により勝敗を決する。

2. 個人戦

- (1) 男女とも出場者が4名以内の階級はリーグ方式とし、5名以上の階級はトーナメント方式とする。
- (2) 試合時間は3分間とし、延長戦(ゴールデンスコア)は無制限とする。
- (3) 優勢勝ちの判定基準は、「有効」又は「指導1」以上とする。得点差が無い場合は延長戦(ゴールデンスコア)により勝敗を決する。

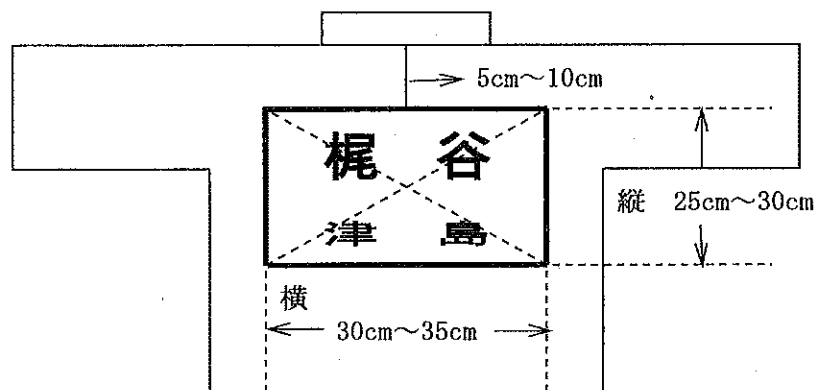
(4) 体重区分は次の通りとする。

① 男子	50kg級 (50kg以下)	55kg級 (50kg超～55kg以下)
	60kg級 (55kg超～60kg以下)	66kg級 (60kg超～66kg以下)
	73kg級 (66kg超～73kg以下)	81kg級 (73kg超～81kg以下)
	90kg級 (81kg超～90kg以下)	90kg超級 (90kg超)
② 女子	40kg級 (40kg以下)	44kg級 (40kg超～44kg以下)
	48kg級 (44kg超～48kg以下)	52kg級 (48kg超～52kg以下)
	57kg級 (52kg超～57kg以下)	63kg級 (57kg超～63kg以下)
	70kg級 (63kg超～70kg以下)	70kg超級 (70kg超)

○ 競技規定

1. 国際柔道連盟試合審判規定(2014年～2016年)及び同国内における「少年大会特別規定」による。
2. 柔道衣は白色とし、女子の黒帯は白線入りとする。
3. (公財)講道館から正式に段位証書が交付されている有段者は黒帯を用いること。
4. 柔道衣に必ずゼッケン(学校名・名字入り)を縫い付けて出場すること。
 - (1) 布地は白(晒、太綾)とする。
 - (2) サイズは横30～35cm、縦25～30cmとする。
 - (3) 名字(姓)は上側2/3、学校名は下側1/3とする。
 - (4) 書体は太字ゴシック体とする(明朝または楷書でもよい)。
 - (5) 文字色は、男子は黒色、女子は濃い赤色とする。
 - (6) 縫い付け場所は襟から5cm～10cm下部の位置で、周囲と対角線を強い糸で縫い付ける。

〈 例 〉



5. 女子は、上衣の下に白色または白に近い色の半袖で無地のTシャツ又は半袖のレオタードを着用すること。 ※Tシャツのマーキングについては、(公財)全日本柔道連盟が定める規程(平成25年4月1日より施行)に準ずる。
6. 柔道衣コントロールの際は、試合時に着けるサポーター等を着用して受けること。
7. 胸マーキング等について、道場名等は不可とする。
8. 体重に増減があった場合、失格とする。但し、女子はTシャツ・下ばきで1kgオーバーまで認める。
9. 皮膚真菌症(トングランス感染症)について、発症の有無を各所属の責任において必ず確認すること。感染が疑わしい、もしくは感染が判明した選手については、迅速に医療機関において、的確な治療を行うこと。もし、選手の皮膚真菌症の感染が発覚した場合は、大会への出場ができないこともある。
10. 脳震盪対応について、選手及び指導者は下記事項を遵守する。
 - (1) 大会前1ヶ月以内に脳震盪を受傷した者は、脳神経外科の診察を受け、出場の許可を得ること。
 - (2) 大会中、脳震盪を受傷した者は、継続して当該大会に出場することは不可とする(なお至急専門医の精査を受けること)。
 - (3) 練習再開に際しては、脳神経外科の診断を受け、許可を得ること。
 - (4) 当該選手の指導者は、大会事務局及び(公財)全日本柔道連盟に対し、書面により事故報告書を提出すること。

組合せ

柔道団体 (男子)

	1 松 野	2 城 北	3 吉 田	4 津 島	勝	負	分	順位
1 松 野								
2 城 北								
3 吉 田								
4 津 島								

① : 1 松 野 - 2 城 北

② : 3 吉 田 - 4 津 島

③ : 1 松 野 - 3 吉 田

④ : 2 城 北 - 4 津 島

⑤ : 1 松 野 - 4 津 島

⑥ : 2 城 北 - 3 吉 田

柔道団体 (女子)

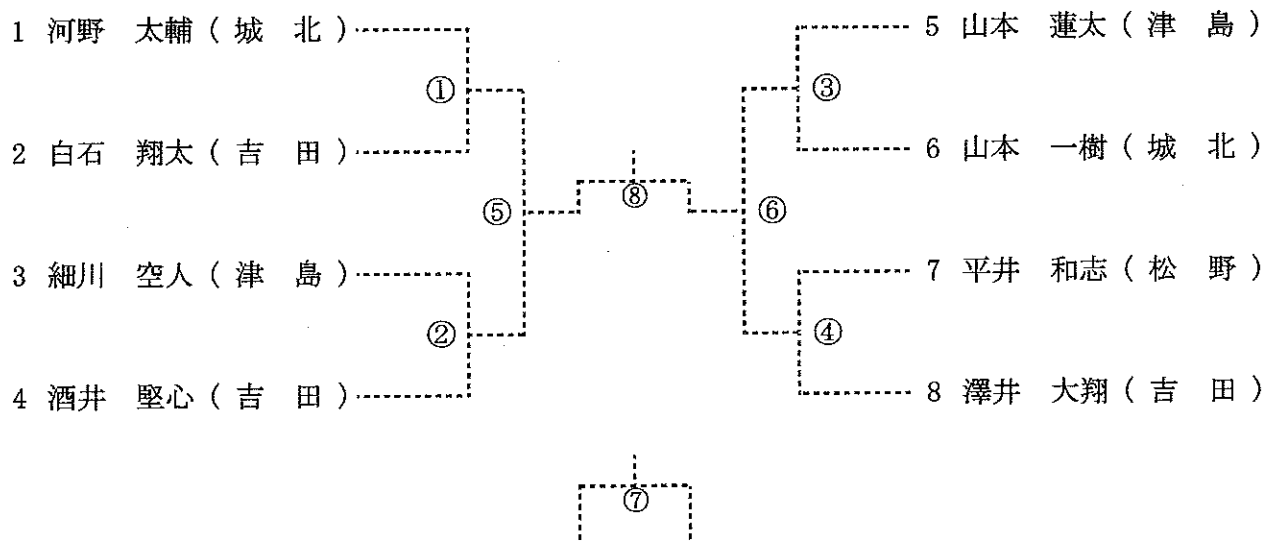
	1 城 北	2 津 島	3 三 間	勝	負	分	順位
1 城 北							
2 津 島							
3 三 間							

① : 1 城 北 - 2 津 島

② : 2 津 島 - 3 三 間

③ : 1 城 北 - 3 三 間

柔道個人（男子）
男子50kg級



男子55kg級

	谷口 壮太	梶谷 紘矢	岡本 悠治	勝	負	順位
1 谷口 壮太（松野）						
2 梶谷 紘矢（城北）						
3 岡本 悠治（津島）						

①：1 谷 口－2 梶 谷

②：2 梶 谷－3 岡 本

③：1 谷 口－3 岡 本

男子60kg級

	竹長 政弥	中川 皇	熊坂 尉	勝	負	順位
1 竹長 政弥（津島）						
2 中川 皇（城東）						
3 熊坂 尉（津島）						

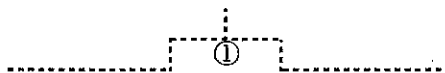
①：1 竹 長－2 中 川

②：2 中 川－3 熊 坂

③：1 竹 長－3 熊 坂

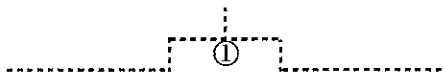
男子66kg級

1 松崎 凌也 (松 野)



男子73kg級

1 佐伯 怜哉 (津 島)



2 関本 太一 (松 野)

男子81kg級

1 梶原 大和 (津 島)



2 和田 隼虎 (三 間)

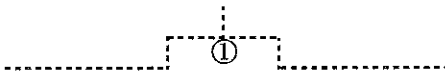
男子90kg級

1 近藤 大幹 (津 島)



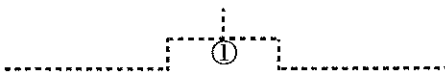
柔道個人 (女子)
女子40kg級

1 梶谷 実生 (城 北)



女子44kg級

1 西田 瑠香 (津 島)



2 梶谷 茉矢 (城 北)

女子48kg級

	佐々木 愛	赤松 桃花	梶原 綺良	勝	負	順位
1 佐々木 愛 (津 島)						
2 赤松 桃花 (城 北)						
3 梶原 綺良 (城 北)						

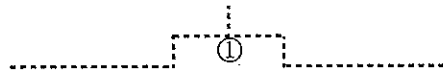
①: 1 佐々木 - 2 赤 松

②: 2 赤 松 - 3 梶 原

③: 1 佐々木 - 3 梶 原

女子52kg級

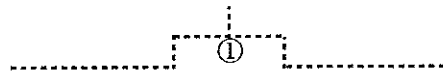
1 大嘉田あみ (城 北)



2 三好 柚羽 (津 島)

女子57kg級

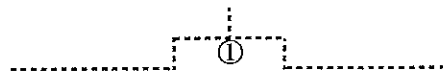
1 岡本 侑花 (津 島)



2 山田 優花 (松 野)

女子63kg級

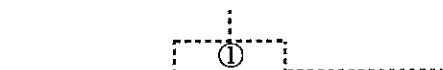
1 前田 悠里 (三 間)



2 村田優希菜 (城 東)

女子70kg級

1 白瀧 陽菜 (三 間)



剣 道

○ 競技責任者 増山 古
○ 会場責任者 田本 谷
○ 審判員 智孝 龍
○ 審判員 之信 夫 (城 東)
○ 審判員 (三 間)
○ 審判員 (鬼 北)

○ 選手 菊大河 池瀧野 新康 八孝 善高 家山 慎健 介司 (三間剣) 豊高 水賀 博和 貴幸 (学剣連)
○ 選手 高木 田田 賢光 孝寛 伊勢 田親 誠志 (宇和島) 桐山 浩孝 之夫 (学剣連)
○ 選手 山本 崎孝 三俊 武田 志 (津島剣) 酒井 孝 (吉 田)
○ 選手 五橋 島卓 信行 (三間剣) 美和 (宇和島) 渡辺 浩一 明隆 (三間剣)
○ 選手 伊松 本勢 紀加 (宇和島) 彦 (三間剣) 玉松 貴寿 史 (宇和島)
○ 選手 宮部 千広 幸香 (城 南) 友玉 井 克 (日 吉) 芝 (城 南)

○ 競技方法 団体戦は、男子はA・Bの2リーグに分けゾーンリーグ戦とし、Aリーグの1位とBリーグの2位、Bリーグの1位とAリーグの2位を組み合わせ、決勝トーナメント戦を行う。女子は3チームでリーグ戦を行い順位を決定する。
個人戦はトーナメント戦とし、3位決定戦を行う。

○ 競技規定

1. 全日本剣道連盟の「剣道試合・審判規則及び細則」、及び日本中体連剣道競技部申し合わせ事項よって行う。
2. 団体戦
 - (1) 3名以上で出場可。但し、3名の場合は先鋒・中堅・大将の位置で行う。4名の場合は、先鋒・中堅・副将・大将の位置で行う。
 - (2) 3分間3本勝負とする。但し、勝敗が決しない場合は引き分けとする。
 - (3) 団体戦の勝敗は勝者数による。勝者数が同じ場合は、勝本数の多い方を勝ちとする。さらに、同数の場合はリーグ戦（ゾーンリーグ戦）では、引き分けとし、決勝トーナメント戦では、代表戦を行う。代表戦は1本勝負で勝敗の決するまで行う。
 - (4) リーグ戦（ゾーンリーグ戦）の順位決定は、得点による。同じ得点の場合は、勝者数・勝本数の順で行う。さらに同じ場合は代表戦を行う。代表戦は1本勝負で勝敗の決するまで行う。
 - (5) 得点は、勝ち1点、引き分け0.5点、負け0点とする。
 - (6) 登録選手として申し込みのない者は、正員の位置に入れることはできない。
 - (7) オーダーは申し込み後変更を認めない。
 - (8) 団体戦では、補員と交代した者は再び選手として出場できない。
3. 個人戦は、3分間3本勝負とする。勝敗が決しない場合は、延長を時間を区切らず、勝敗が決するまで行う。
4. 竹刀は男女とも114cm以下とし、竹刀の先部の直径は、男子25mm以上、女子24mm以上でなければならない。また、先革の長さは50mm以上とする。重さは、男子440g以上、女子400g以上とし、計測、計量を行う。アイガード・ポリカーボネート面及び化学繊維竹刀の使用は認める。竹刀のつるの色は、白・黄・紫のみとする。
5. つばの大きさは直径9cm以下とし、色は革色のもの（白色も可）を使用する。（絵付きのものは装着の状況による）
6. 突きおよび上段の構え、二刀は禁止する。
7. 服装は、剣道着および袴を着用し、たれの前に学校名「中」（横）、姓（縦）を黒または紺地に白文字を記入する。剣道着そで口に学校名以外の名前の刺繍の入っている剣道着の着用は認めない。（関係のないワッペン等の着用も認めない。）
8. 面ひもの長さは結び目より40cm以内とする。
9. サポーター等（足袋・テーピング、コルセットを含む）の使用については、医療上必要と認める場合に限り使用を認める。使用する場合は、試合開始までに各審判主任に届け出た上で使用する。また、肘や膝などに付ける物を足に使用したり、ゴムや革及びすべり止めを底に貼った物の使用は禁止とする。指先単独のテーピングは届け出は不要。届け出と違う物を使用した者は、替えさせる。
10. 面乳革は大きさ、模様を含めて華美にならないように配慮し、色は黒色または紺色とする。
11. 面金を黒塗りにした面など、通常の配色でない面の使用を禁止する。（通常とは面金前部が銀色、面縁革の色が外側黒、内側朱のもの）
12. 柄革は、滑り止めや模様等のない無地のもので、白とする。

剣道 団体（男子） 第1・2試合場

予選 第1試合場

Aゾーン		城北	宇南	日吉	城東	得点	勝者数	勝本数	順位
1	城北		—	—	—				
2	宇南	—		—	—				
3	日吉	—	—		—				
4	城東	—	—	—					

左が赤

予選 第2試合場

Bゾーン		城南	三間	吉田	得点	勝者数	勝本数	順位
1	城南		—	—				
2	三間	—		—				
3	吉田	—	—					

左が赤

第1試合場

1	:	城北	—	宇南
2	:	城北	—	城東
3	:	宇南	—	日吉
4	:	城北	—	日吉
5	:	宇南	—	城東

第2試合場

1	:	日吉	—	城東
2	:	城南	—	三間
3	:	三間	—	吉田
4	:	城南	—	吉田

決勝トーナメント 上が赤

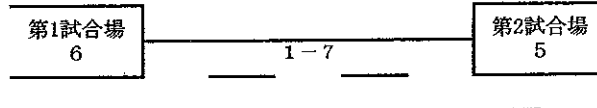
優勝

Aゾーン

1位

Bゾーン

2位



Aゾーン

2位

Bゾーン

1位

1位	
2位	

剣道 団体（女子） 第3試合場
予選

		日吉	吉田	三間	得点	勝者数	勝本数	順位
1	日吉		—	—				
2	吉田	—		—				
3	三間	—	—					

左が赤

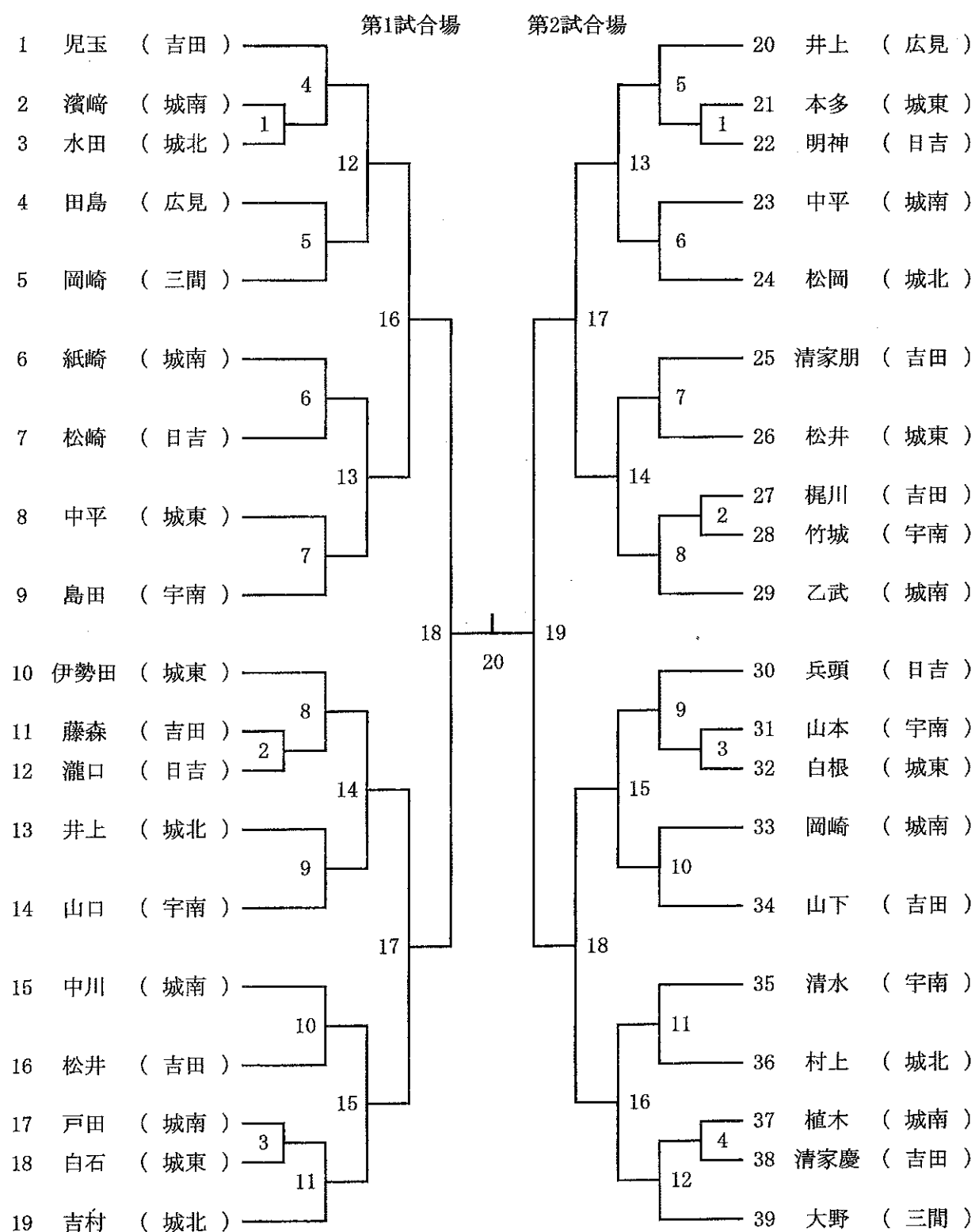
第3試合場

1 : 日吉 — 吉田
2 : 吉田 — 三間
3 : 日吉 — 三間

1位	
2位	

剣道 個人 (男子)

上が赤



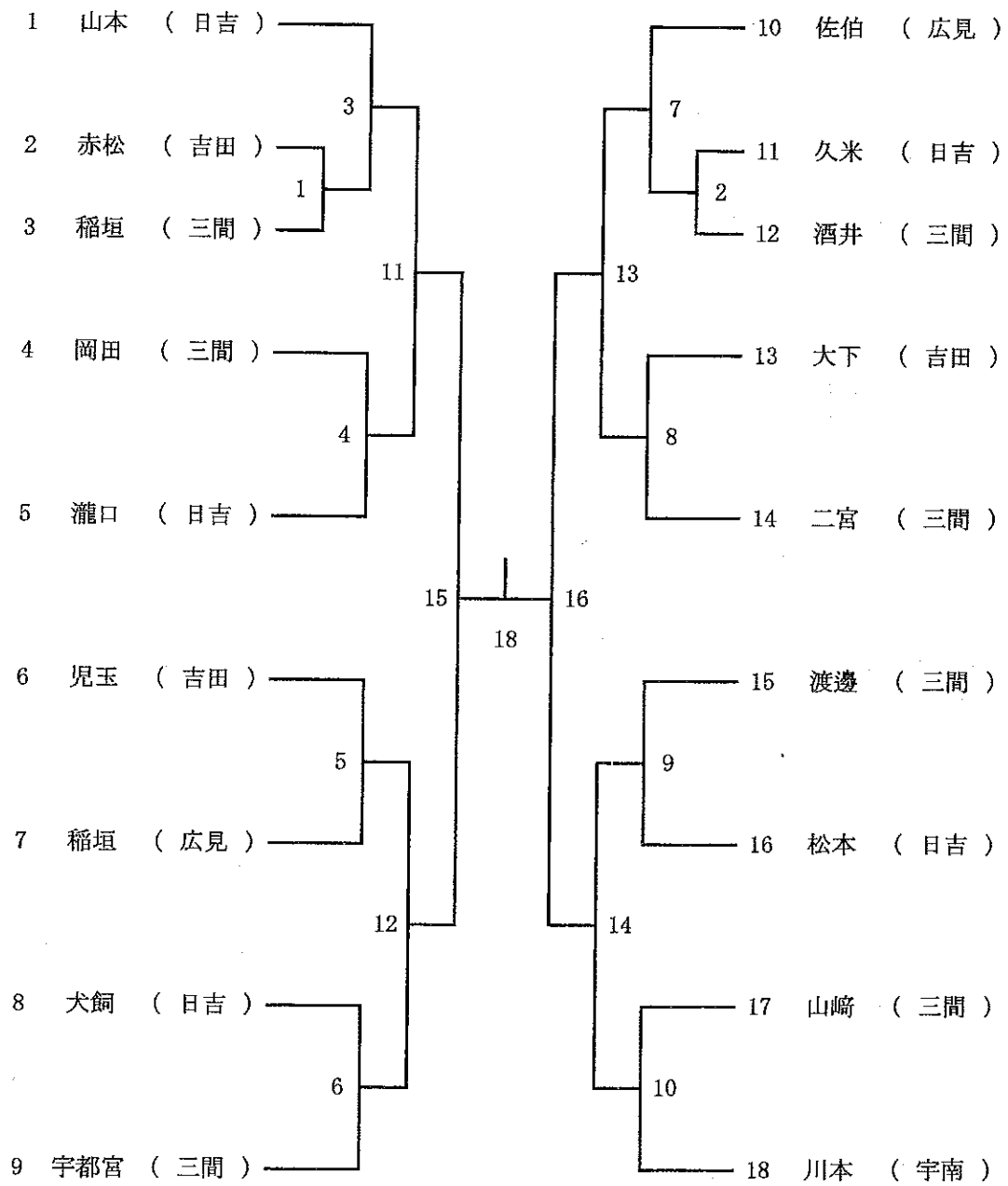
3位決定戦 第2試合場

1 試合場
18の敗者

() 20 ()
赤 白

2 試合場
19の敗者

剣道 個人（女子） 第3試合場 上が赤



3位決定戦

15の敗者

() 赤

17

() 白

16の敗者

体 操 競 技

- 競技責任者 木 野 下 志 麻 (城 北)
 ○ 会場責任者 赤 桎 修 一 (津 島)
 ○ 審 判 長 赤 桎 修 一 (津 島)
 ○ 審 判 員 山 下 厚 順 (宇体協) 山 口 直 子 (宇体協)
 長 山 愛 (宇体協)
 ○ 運 営 員 和 田 和 子 (城 北)

○ 競 技 方 法

1. 演技は男女とも自由演技のみとする。
3. 1チームは3～4名で編成し、その他に補欠1名を認め、学校単位とする。また、団体の補欠と個人を兼ねることはできない。
4. 団体総合は、3種目（男子あん馬、女子段違い平行棒を除く）の演技とする。ただし、あん馬、段違い平行棒を行えば個人総合と兼ねることができる。
5. 個人総合は、4種目の演技とする。

○ 競 技 規 定

1. 日本体操協会制定男子採点規則2013年度版中学校男子適用規則、日本体操協会制定女子採点規則2013年度版中学女子変更規則Ⅱを適用する。

体操競技 女子

校名	氏 名	跳馬		段違い平行棒		平均台		ゆか		計	個人総合順位	団体順位
		得点	順位	得点	順位	得点	順位	得点	順位			
城北	畠 山 留 衣											
	岡 本 月 乃											
	荘 も も か											
	家 藤 夢 乃											
	チーム内ベスト3											
城北	家 藤 帆 乃 香											
	三 原 未 来											

テ ニ ス

○ 競技責任者 徳田 英樹 (三 間)

○ 会場責任者 徳田 英樹 (三 間)

○ 審 判 長 徳田 英樹 (三 間)

○ 審 判 員 宇和島テニス連盟より3名

○ 運 営 員 徳田 英樹 (三間)

○ 参加規程

- 1 団体戦は、同一校の選手4名以上10名以内と監督またはコーチ1名で構成する。
- 2 個人戦シングルスは、各校8名以内とする。
- 3 個人戦ダブルスは、同一校の選手2名で構成し、各校4ペア以内とする。

○ 競技方法

- 1 1セットマッチ (6ゲームオールタイブレイク) とする。
- 2 団体戦は4名からエントリーを認める。登録メンバーは10名までとし、シングルスとダブルスを重複して出場することはできない。エントリーが7名未満の場合、棄権ゲームは相手チームのポイントとする。エントリーが7名に満たないチーム同士の対戦でポイント数が同じになった場合は、ダブルス1、シングルス2、シングルス1の3ポイントの結果で勝敗を決定する
 - ① 4名の場合 ダブルス2：棄権 ダブルス1：○ シングルス3：棄権 シングルス2：○ シングルス1：○
 - ② 5名の場合 ダブルス2：棄権 ダブルス1：○ シングルス3：○ シングルス2：○ シングルス1：○
 - ③ 6名の場合 ダブルス2：○ ダブルス1：○ シングルス3：棄権 シングルス2：○ シングルス1：○
- 3 個人戦はシングルス、ダブルス共にトーナメント形式で行う。

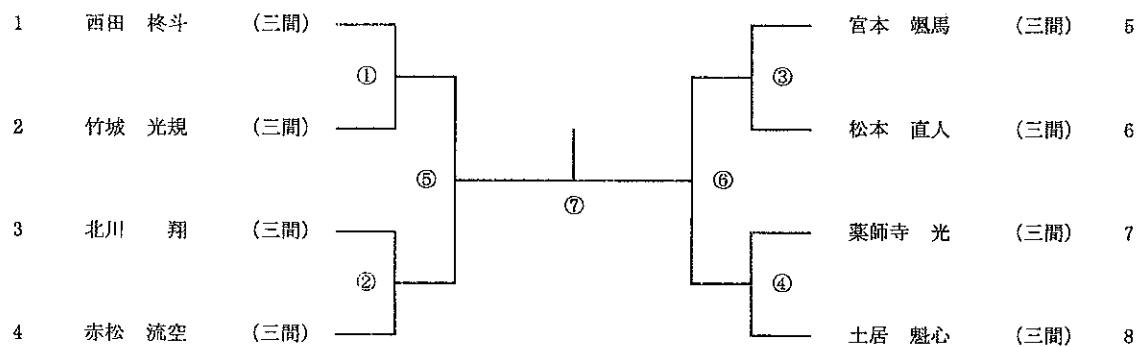
○ 競技規定

- 1 (公財) 日本テニス協会「テニスルールブック」による。
- 2 審判は、SCU (ソロチェアアンパイア) を原則とする。
- 3 試合球は、ウィルソン・エクストラ・デューティーとする。
- 4 服装は、上下ともテニスウェアとする。(ゼッケン等は必要ない。)
- 5 個人戦シングルスはベスト16、個人戦ダブルスはベスト8の選手に県新人大会の出場権が与えられる。

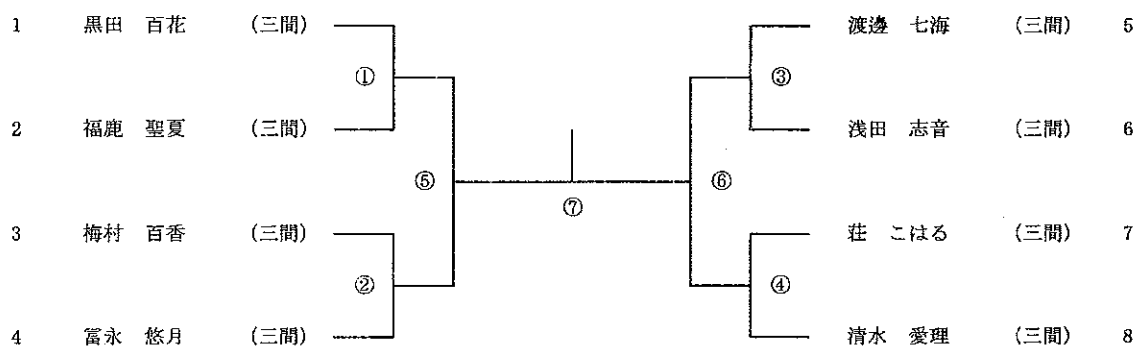
○ 注意事項

- 1 指示があるまでコートには絶対入らないこと。
- 2 試合前の練習はサービス4本のみとする。
- 3 個人戦シングルスのみ、各校1名、ボールパーソンをつけることができる。
- 4 セルフジャッジができない場合は、その時点で失格とする。

テニス 個人シングルス (男子)



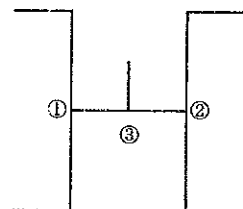
テニス 個人シングルス (女子)



テニス 個人ダブルス (男子)

1 西田 柊斗・土居 魁心

(三間)



薬師寺 光・松本 直人

(三間)

3

2 北川 翔・宇都宮 悠

(三間)



赤松 流空・宮本 颯馬

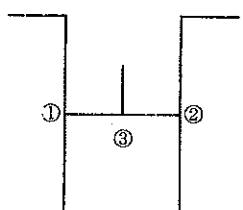
(三間)

4

テニス 個人ダブルス (女子)

1 黒田 百花・清水 絵理

(三間)



渡邊 七海・福鹿 聖夏

(三間)

3

2 松本 奈幹・田中みひろ

(三間)



浅田 志音・荘 こはる

(三間)

4

歴代優勝校

競技 回	バレーボール		バスケットボール		卓球		ソフトテニス		軟式野球	ソフトボール	サッカー	柔道		剣道		体操競技		相撲	テニス	
	男	女	男	女	男	女	男	女	共	女	共	男	女	男	女	男	女	男	男	女
1	松野	吉田	城東	城東	宇南	城東	城東	城東	城東		城東	津島	津島	広見	城南	城北	津島	津島		
2	松野	吉田	城東	宇南	城東	城東	津島	城東	津島	城北	城東	城南	城北	城東	城東	津島	津島	津島		
3	松野	吉田	城東	城東	城北	三間	日吉	城南	宇和海	城北	城東	城北	城北	三間	広見	津島	城北	津島		
4	松野	吉田	城東	城東	吉田	広見	広見	城東	津島	城北	宇南	津島	城北	三間	広見	津島	城北	津島		
5	松野	吉田	宇南	城南	城北	広見	城東	三間	三間	城北	城東	城北	城北	三間	宇南		城北	津島		
6	松野	吉田	宇南	宇南	津島	津島	日吉	城南	広見	城北	宇南	城北	津島	広見	三間		城北	津島		
7	松野	吉田	宇南	宇南	城南	広見	日吉	城東	城東	城北	城東	城北	城北	三間	三間		城北	津島		
8	松野	吉田	城東	城東	城東	広見	城南	津島	吉田	城北	城北	城東	城北	三間	三間		城北	津島		
9	松野	宇南	城東	城東	城北	津島	日吉	城南	津島	城北	城北	津島	城北	三間	吉田	城北	城北	津島		三間
10	松野	吉田	宇南	城東	津島	広見	日吉	日吉	三間	城北	宇南	津島	城北	広見	広見	城北		津島	三間	三間
11																				
12																				

